

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ..... 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 ..... 53番
- \*交読文 ..... 51番
- \*使徒信条 ..... 会衆一同
- \*頌栄 ..... 174番
- 礼拝のための祈り ..... 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 ..... 489番
- メッセージ ..... サライ - 主人に服従した王族の母(創世記 12:10-20)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 ..... 502番
- 献金感謝の祈り ..... パスター
- 報告と歓迎 .....
- \*主の祈り ..... 会衆一同
- \*祝祷 ..... パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

言は自分を受け入れた人、その名を信じる\_\_\_\_\_には神の子となる資格を与えた。\_\_\_\_\_は血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである。(ヨハネ 1:12)

「\_\_\_\_\_は主のはしためです。お言葉どおりこの身に成りますように」(ルカ 1:38)  
「主のお語りになったことが必ず成就すると信じた\_\_\_\_\_は、なんとさいわいなことでしょう。・・・わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救主なる神をたたえます。この卑しい\_\_\_\_\_をさえ、心にかけてくださいました。今からのち代々の人々は、\_\_\_\_\_をさいわいな人と言うでしょう、力あるかたが、\_\_\_\_\_に大きな事をしてくださったからです。」(ルカ 1:45-49)

今回は、アブラムの妻・サライ(後のサラ)について見て行きたい。  
サライは、アブラムの10歳年下の異母兄妹であり、かつ、アブラムとは夫婦の関係である。  
アブラムが身の危険を感じる程美しい女性で、名前の意味は王女、高貴な女性で、父のテラは彼女にお姫様のような子になって欲しいとある種の願いを込めてつけたのだろう。しかし彼女は不妊の女だった。

『さて、その地にききんがあったのでアブラムはエジプトに寄留しようと、そこに下った。ききんがその地に激しかったからである。』(創世記 12:10) アブラムにとって最初の信仰の試練は、ききんである。  
お金や食料が尽きるのは、聖書の中でもよく見るが、そのような時は大抵、信仰が試されている。  
アブラムはこの時、大いに祝福して下さると約束して下さった主に頼るのではなく、周りを見渡し、エジプトに食料があると見定め、安直にそちらへ行ってしまった。しかも、エジプトに入る時、彼はサライに言う。「わたしはあなたが美しい女であることを知っています。それでエジプトびとがあなたを見る時、これは彼の妻であると言ってわたしを殺し、あなたを生かしておくでしょう。』(創 12:11-12)  
彼のこの言葉から、彼は約束して下さった主よりも、エジプト人やパロのほうを恐れている事がわかる。  
一度、主から目をそらし、自分の「不足」に目を向けると、恐れ、不安になる。すると、主にはなく世に頼ろうとするようになり、世に頼ろうとする時、罪と妥協して、ますます主から離れてしまうパターンに陥る。  
『どうかあなたは、わたしの妹だと言ってください。そうすればわたしはあなたのおかげで「無事であり(彼らは自分に良くしてくれ)」わたしの命はあなたによって助かるでしょう。』(創世記 12:13)  
アブラムは、自分達は「夫婦」ではなく「兄妹」だと言うように指示し、そうして彼女がパロに召し入られるなら、自分達は良い待遇が受けられるだろう、という、確信犯的な皮算用さえ見える。  
夫婦のどちらかが犠牲になって生活の保証を得る。それは現代もよく見る事で、キリスト者にも同じ誘惑に陥る人は多いが、主がアブラムとサライにして下さった約束は、彼らの間に生まれる子が、おびただしく増えていくものであって、サライがパロの妾の一人になるなど、主の約束の中には一切無いはずである。  
彼女は、この非道いように見えるアブラムに指示し、従った。もしかしたら彼女も、アブラムと同意見だったからかもしれないが、とにかく彼女は、無言の振る舞いによって、夫に仕える信仰の持ち主だった。  
なにしろ彼女は65歳の時、主がアブラムをどこに導くかも分からないのに、住み慣れた生活の場を放棄して彼と一緒にについて行ったのだ。『たとえば、サラはアブラムに仕えて、彼を主と呼んだ。あなたがたも、何事にもおびえ臆することなく善を行えば、サラの娘たちとなるのである。』(1ペテロ 3:5-6)  
彼女はこの時はまだ未熟だが、彼女のこの「主人に従う性質こそが、王族の家系の母となる性質」である。  
エジプトに入った時、果たしてアブラムが言った通りの事になった。エジプト人は、サライの美しいのを見てパロに推薦し、彼女はパロに召し入れられてしまい、そしてアブラムは家畜や奴隷を得た。  
アブラムは財産が増えて、自分の思い図った通りに成功した、と思っただろうか？  
確かに衣食住の心配は無くなったかもしれないが、彼が正常な信仰者であるなら、主の約束から大分離れてしまった自分達の有り様に、平安が乱されていたのではないだろうか。皆さんも、同じ葛藤に陥っていないだろうか。このように、人の考え出したベストは決して「最善」ではなく、どこかに虚しさや苦々しさがついて回る。しかし主は、そのような人間の失敗さえも「最善」へと導く事の出来るお方である。

「ところで主はアブラムの妻サライのゆえに、激しい疫病をパロとその家に下された。」(17節)  
そこで主の直接介入である。主はアブラムの、そしてサライの祈りを聞かれたのだろう。  
人は、身勝手な不従順の結果、苦々しさ、災いに陥る事はあるが、主は「それみろ自業自得だ」と言ってほったらかす事はなく、悔い改めの祈りを聞かれる。  
18節を見ると、この災いの原因は、アブラムの妻・サライをめとった故だと、パロははっきり認知していた事がわかる。パロはアブラムの背後にいる主を恐れ、サライを無事に返し、全ての所有物と共に送り出した。  
アブラムは自分を弱々しいと思ったかもしれないが、彼の背後には、エジプトさえ恐れる主がおられる。  
そして、私達が信じる主は、同じ万軍の主であり、私達も主を信じるなら、信仰によるアブラムの子孫であり、そうであるからには、世の側が、主イエスの故に、私達を恐れるのだ。

# 横浜天声キリスト教会 礼拝 週報

## 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

### 日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

### 日々の集会

月～金 早天祈祷会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈祷会	19:30～

### 水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

## アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園1-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト

